

(記入例)

# 平成30年度 業績優秀者返還免除申請書

(様式1-1表)

平成 年 月 日

独立行政法人  
日本学生支援機構理事長殿

申請年月日を記入してください。

本申請書記載事項に相違ありません。  
免除認定を受けた場合、認定後において日本学生支援機構が免除認定者の職業や業績等について調査を行うときにはその調査に協力することに同意のうえ、特に優れた業績による返還免除を申請します。

フリガナ          ホクダイ タロウ  
氏 名                  北大 太郎



大 学 院 名          北海道大学

シヤチハタ不可

課 程           修士 (博士前期) 課程          専門職大学院課程          博士 (博士後期) 課程

研究科名・専攻名          ○○学院△△専攻          学 籍 番 号          \* \* \* \* \* \* \* \*

奨 学 生 番 号          6 \* \* 0 6 \* \* \* \* \* \* \* \*          生 年 月 日          昭和 平成 年 月 日

現 住 所          〒 \* \* \* - \* \* \* \*          電話番号          \* \* \* ( \* \* \* ) \* \* \* \*  
大学に届け出ている住所

## ■大学院における研究課題等

題 目	研究題目を記入してください。
概 要	<p>大学院における研究課題等について、具体的に記入してください。</p> <p>別紙「特に優れた業績の評価項目一覧」を参考に、該当する項目の数字に○印を付してください。 また、該当する項目の業績については、必ず資料を添付してください。 資料はA4サイズコピーで統一すること。(記入要領参照)</p>

## ■教育研究活動等の業績

①	学位論文その他の研究論文	2	大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果 (修士課程の修了要件に関する事項のため、博士 (後期) 課程は非該当)	3	大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果 (博士前期課程の修了要件に関する事項のため、博士 (後期) 課程は非該当)
4	(専攻分野に関連した) 著書、データベースその他の著作物 (1 及び 2 に掲げるものを除く。)	5	発明	⑥	授業科目の成績
7	研究又は教育に係る補助業務の実績	8	(専攻分野に関連した) 音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	9	(専攻分野に関連した) スポーツの競技会における成績
10	(専攻分野に関連した) ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績 (公益の増進に寄与した研究業績)				

記入の際は裏面記載の【記入上の注意】を参照。

申請書表面にて○印を付けた、特に優れた業績の該当項目にかかる内容の要旨について、800字程度で記入してください。(申請者記入)

【返還誓約書の提出について】

該当するいずれかの口に✓すること。(提出予定の場合は提出予定年月も記載)

提出済み                       提出予定 (平成    年    月 大学へ提出予定)

【口座振替 (リレー口座) 加入申込の手続きについて】

該当するいずれかの口に✓すること。(手続き予定の場合は予定年月も記載)

手続き済み                       手続き予定 (平成    年    月 )

提出または手続きが確認できない場合、申請を受け付けません。

【記入上の注意】

1. 「課程」欄は、該当するいずれかの口に✓すること。
  2. 「現住所」は大学へ届け出ている住所を記入すること。貸与終了後に連絡先が変更となる場合、返還のてびき(24頁)を参照のうえ、必ず5月末までに機構に届け出ること。
  3. 「教育研究活動等の業績」欄は、該当する数字を○で囲むこと。ただし、専攻分野に関連した業績に限る。
  4. 「教育研究活動等の業績」欄に○を付した項目について、裏面にそれらの要旨を800字程度で記載すること。なお、論文、著書及び受賞については、それぞれ作成又は受賞の年月を記入すること。  
また、発表、学会誌等は、その名称、巻、号等を記載すること。
  5. 大学院の成績証明書、特に優れた業績であることを証明する資料及び業績一覧表を必ず添付すること。(成績証明書は「教育研究活動等の業績」欄で「授業科目の成績」を選択していない場合でも提出が必要。)
- (注) これは様式1-1 (裏面) です。印刷は、様式1-1表裏の両面刷りとすること。

# ■業績一覧表〔博士課程〕 《記入方法》

(様式1-2表)

※必要に応じて行を挿入(削除)して構わない。行の挿入により、表の形式及び記入項目に変更がなければ、頁数が3頁以上になってもよい。

※各添付資料の右上に資料番号を記載し、本表の該当する資料番号欄へも記載すること。同一項目に複数業績がある場合は「\*\*\*-1, \*\*\*-2」のように資料・この様式共に通し番号を付すこと。

奨学生番号	6	0 6	学籍番号	
氏名			研究科名・専攻名	
<b>1. 学位論文その他研究論文</b>				
【博士論文】	有	無	評価	資料番号
※「有無」の欄は該当に○。「評価」は合格と記載。未確定の場合は空欄				
※有＝博士論文提出済または学位授与済 無＝辞退・退学・未提出等				
※博士論文を提出中はその旨をこの欄に記載。				
※査読付き原著論文の有無、論文・学会で受賞・表彰は右欄に○を記載してください。			査読付き 原著論文	受賞 ・表彰
資料番号				
【研究論文】 ※①著者名、②論文名、③学術雑誌名(該当頁)、④発行年月日、⑤その他「掲載決定(予定)」等を記載				
(例)				
1. ①(本人氏名、共著者名)、			○	(1)B②-1
②「(論文名)」、				
③「(学術雑誌名)(巻号、頁)」、④(発行年月日)				
2. ①(本人氏名、共著者名)、②「(論文名)」			○	(1)B②-2
③「(学術雑誌名)(巻号、頁)」、④(発行日)、⑤掲載決定(予定)				
【学会での発表】 ※①発表者名、②題目、③会議名、④主催者名、⑤発表年月日、⑥表彰・受賞等を記載				
(例)				
1. ①(本人氏名、共同発表者名)、②「(題目)」			○	(1)B③
③「(会議名)」、④主催者名、⑤(発表年月日)、⑥●●ポスター賞				
2. ①(本人氏名、共同発表者名)、②「(題目)」				(1)B④
③「(会議名)」、④主催者名、⑤(発表日)				
※1 博士論文、査読付き学術雑誌への原著論文掲載、論文及び学会での発表に対する表彰又は受賞がない場合、こうした実績が挙げる事ができなかった事情があれば、その事情を記載してください。				
※2 日本学術振興会の特別研究員に採用され奨学金貸与を辞退した場合、または、これと同等な民間財団等が公募している競争的資金を獲得することにより奨学金を辞退することとなった場合には、その旨を記載してください。				
※3 機構以外の給付奨学金の獲得や外部資金の獲得等があれば記載してください。				
(例) 平成31年4月より、日本学術振興会の特別研究員(DC2)に採用されたために奨学金を辞退。				
<b>2. 大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果</b>				
※大学院設置基準第16条は修士課程の修了要件に関する規定であるため、				
本項目に博士(後期)課程は該当しません。				
<b>3. 大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果</b>				
※大学院設置基準第16条の2は博士課程の前期の課程の修了要件に関する規定であるため、				
本項目に博士(後期)課程は該当しません。				
4. (専攻分野に関連した)著書、データベースその他の著作物(1及び2に掲げるものを除く)				資料番号

■特に優れた業績の一覧〔博士課程〕

(様式1-2裏)

奨学生番号	6	06	学籍番号	
氏名			研究科名・専攻名	
5. 発明				資料番号
※特許登録済、特許出願中、実用新案登録済及び実用新案出願中の区分を記載し、発明（考案）者名、出願番号、出願日、特許番号、実用新案番号、登録日等を記載				
6. 授業科目の成績				資料番号
①「専攻内での成績が上位4分の1以内である。」と全員記載すること。※非該当者は事務で削除します。				
②「成績証明書に記載の成績が全て「優」以上」については、事務で確認するので全員記載不要				
7. 研究又は教育に係る補助業務の実績				資料番号
※TA等による教育活動への貢献はTA・RA等の別にのみ分けて記載すること。				
採用期間毎に記載しない。				
8. (専攻分野に関連した)音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績				資料番号
※発表会等の名称、開催日、開催場所、順位(●●人中●位)などを記載。				
※発表会等がどのような内定であるか、国際的レベル・国内的レベルであるか、どのような人を対象とするか、などについて記載。				
9. (専攻分野に関連した)スポーツの競技会における成績				資料番号
※競技会等の名称、開催日、開催場所、順位(●●人中●位)などを記載。				
※競技会等がどのような内定であるか、国際的レベル・国内的レベルであるか、どのような人を対象とするか、などについて記載。				
10. (専攻分野に関連した)ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績(公益の増進に寄与した研究業績)				資料番号
※活動内容・名称等と期間(イベントは開催日)、社会貢献の内容				

# ■業績一覧表〔修士課程・専門職学位課程〕 《記入方法》

(様式1-2表)

※必要に応じて行を挿入(削除)して構わない。行の挿入により、表の形式及び記入項目に変更がなければ、頁数が3頁以上になってもよい。

※各添付資料の右上に資料番号を記載し、本表の該当する資料番号欄へも記載すること。同一項目に複数業績がある場合は「\*\*\*-1, \*\*\*-2」のように資料・この様式共に通し番号を付すこと。

奨学生番号	6	0 6	学籍番号	
氏名			研究科名・専攻名	
<b>1. 学位論文その他研究論文</b>				<b>資料番号</b>
※「修士論文」, 「研究論文」, 「学会発表」等の別を明記したうえで下記に留意し記載すること。				
・修士論文は「修士論文」と明記し、課題名と要旨を記載				
・研究論文は①著者名, ②論文名, ③学術雑誌名(巻号, 頁), ④発行年月日, ⑤その他「掲載決定」等記載 共著者多数の場合第一著者と本人以外省略可, 雑誌名は略称可				
・学会発表は①発表者名, ②題目, ③会議名, ④主催者名, ⑤発表年月日, ⑥表彰・受賞等を記載 ⑥に該当しない場合は記入しなくてよい。				
<b>2. 大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果</b>				<b>資料番号</b>
※修士論文(概要のみを含む)を提出した場合は該当しない。				
<b>3. 大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果</b>				<b>資料番号</b>
本学では該当しない				
<b>4. (専攻分野に関連した)著書, データベースその他の著作物(1及び2に掲げるものを除く)</b>				<b>資料番号</b>
※著書, データベース, その他の著作物の別を明記したうえで 著書名, 共著の場合担当した頁番号(総頁数も), 発行年月日, 発行社名等を記載				
<b>5. 発明</b>				<b>資料番号</b>
※特許登録済, 特許出願中, 実用新案登録済及び実用新案出願中の区分を記載し, 発明(考案)者名, 出願番号, 出願日, 特許番号, 実用新案番号, 登録日等を記載				

■特に優れた業績の一覧〔修士課程・専門職学位課程〕

(様式1-2裏)

奨学生番号	6	06	学籍番号	
氏名			研究科名・専攻名	
<b>6. 授業科目の成績</b>				<b>資料番号</b>
①「専攻内での成績が上位4分の1以内である。」と全員記載すること。※非該当者は事務で削除します。				
②「成績証明書に記載の成績が全て「優」以上」については、事務で確認するので全員記載不要				
<b>7. 研究又は教育に係る補助業務の実績</b>				<b>資料番号</b>
※TA等による教育活動への貢献はTA・TF等の別にのみ分けて記載すること。				
採用期間毎に記載しない。				
<b>8. (専攻分野に関連した) 音楽, 演劇, 美術その他芸術の発表会における成績</b>				<b>資料番号</b>
※発表会等の名称、開催日、開催場所、順位(●●人中●位)などを記載。				
※発表会等がどのような内定であるか、国際的レベル・国内的レベルであるか、どのような人を対象とするか、などについて記載。				
<b>9. (専攻分野に関連した) スポーツの競技会における成績</b>				<b>資料番号</b>
※競技会等の名称、開催日、開催場所、順位(●●人中●位)などを記載。				
※競技会等がどのような内定であるか、国際的レベル・国内的レベルであるか、どのような人を対象とするか、などについて記載。				
<b>10. (専攻分野に関連した) ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績(公益の増進に寄与した研究業績)</b>				<b>資料番号</b>
※活動内容・名称等と期間(イベントは開催日), 社会貢献の内容				

◆指導教員等の推薦理由

(記入例)

(様式1-3)

奨学生番号	6 * * 0 6 * * * * * *	学籍番号	*****
氏名	北大 太郎	研究科名・専攻名	〇〇学院△△専攻

(修正液・修正テープ使用不可)

この学生は、貴機構の特に優れた業績による返還免除に該当していることを認めます。

平成\*\*年\*\*月\*\*日

独立行政法人  
日本学生支援機構理事長殿

指導教員の職名、自筆署名及び印鑑の押印を必ず受けてください。シャチハタ不可。

職名

指導教員名

印